

平成 27 年 (2015 年) 8 月 26 日

蘇南高等学校 夏季休業後全校集会挨拶

皆さん、あらためまして、おはようございます。

今日、皆さんの元気な顔を見ることができて、とてもうれしく思っています。
さて、皆さんはこの夏休み、充実していましたか？
そして、ゆっくり休むことができましたか？

私はこの夏休みを満喫しました。

馬籠の藤村記念館に行ったところ、資料館の中に島崎藤村の「人の世に三智あり」の書がありました。

- ①学んで得る智
- ②人と交わって得る智
- ③自らの経験よって得る智 とありました。

3 番目の自らの経験によって得る智に関連して、7 月 27 日に夏休みを前に前に皆さんに「経験に勝る宝無し」、つまり経験に裏打ちされたものこそが宝物であるというお話を 2 つの例をもってお話ししました。

- ①中国の古い時代の思想家に荀子の言葉で「高山(こうざん)に登らざれば、天の高きを知らざるなり」という言葉と。
- ②宮大工の棟梁「小川三夫氏」の「鉋研ぎを毎日しているから 1 ミリの隙間が気になるのです。」「その 1 ミリの隙間を直した経験があるから、直さなくとも良いと言えるのです」とまさしく日頃の継続された努力から生まれた経験に裏打ちされた言葉でした。

皆さんなんとなく覚えていますか？

さて、この夏休みですが、多くの先生方から「夏休みにこんなにたくさんの生徒たちが学校に来て頑張っているのは近年ないことだ！」「先生と生徒が一体となっているのがすばらしいね」とお話ししていただきました。

私も 3 年生の半分以上の皆さんと校長面談をしましたが、3 年生の顔が輝いていました。また、ロボコンに向けての準備、各種工業資格講習、就職試験、大学、短大、専門学校への受験勉強に精を出す 3 年生や補習や部活動に精を出す 2 年生、1 年生も例年より多く学校に見られました。前向きな姿勢は本当に輝いていてすばらしいです。

部活動では、3 年生の松井悠一郎君がインターハイ出場し、強敵相手に検討しました。そして国体の強化選手としてミニ国体にも出場し長野県代表として活躍して役目を終えました。3 年間やりぬいたその業績を心からほめたたえたいと思います。

さて、復習ですが、成長曲線についてもお話ししました。

努力をしていれば、右肩上がりで成績が向上するというのはありません。努力していても成績は上がったり下がったりの連続です。でも努力しているとある時ふとまっすぐ上に成績は向上します。そして努力の結果が出る最短が3の倍数の日付ですと。

でも、学習面では努力は結果に結びつきやすいのですが、どんなに頑張っても、頑張ってもうまくいかない時があります。また、どんなに努力しても結果が出ないことがわかつていてもそれに向かっていくしかない時があります。

きっと高校を卒業して、社会に出ればそんなことの繰り返しかもしれません。こんなときどうしたらよいのでしょうか？

☆答えはありません。

ただ言えることは、自分の「可能性を大切にする」ことです。

「可能性」にも命があります。

きちんと水をやって、栄養を与え、じっくり慈しんで育てるこことによって初めて「風雪に耐える」ほどの強さを持ちます。

この水や栄養は「読書」にあたるとも言われます。

自分を大切にして、本を読み、焦らずに毎日毎日コツコツと努力する経験を積み重ねましょう。

さあ、今日から長い長い前期後半と後期前半が始まります。

与えられたものを受け身的にやるのではなく、自分で考えて、自分を律して、行動する経験から得た知恵と勇気の種を心に宿して過ごしましょう。

定期試験や合唱コンクールとクラスマッチちょうど良い間隔で予定されています。「どうせやるなら 楽しく！」を合言葉にまた先生方と一緒に歩みを進めましょう！